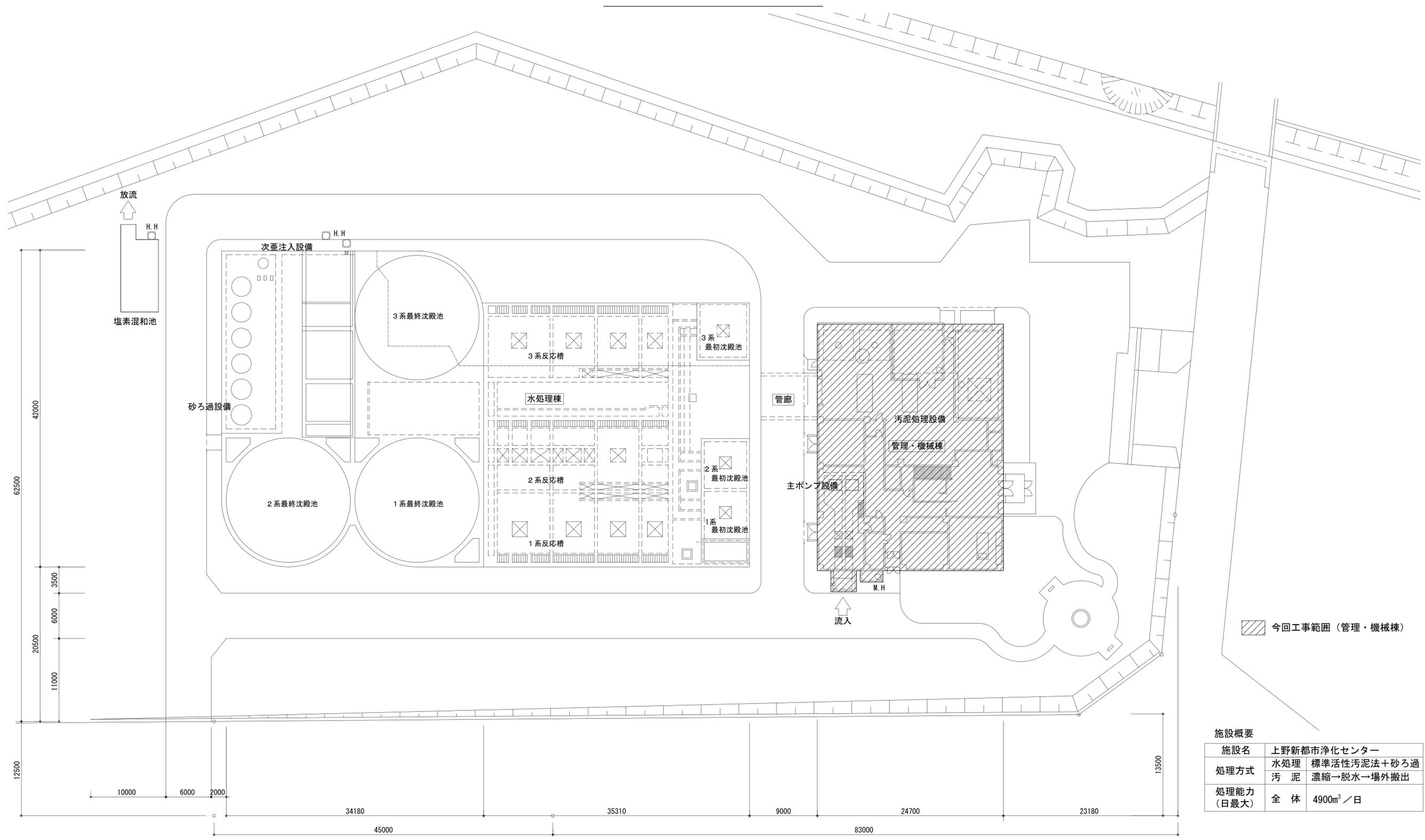


全体配置図



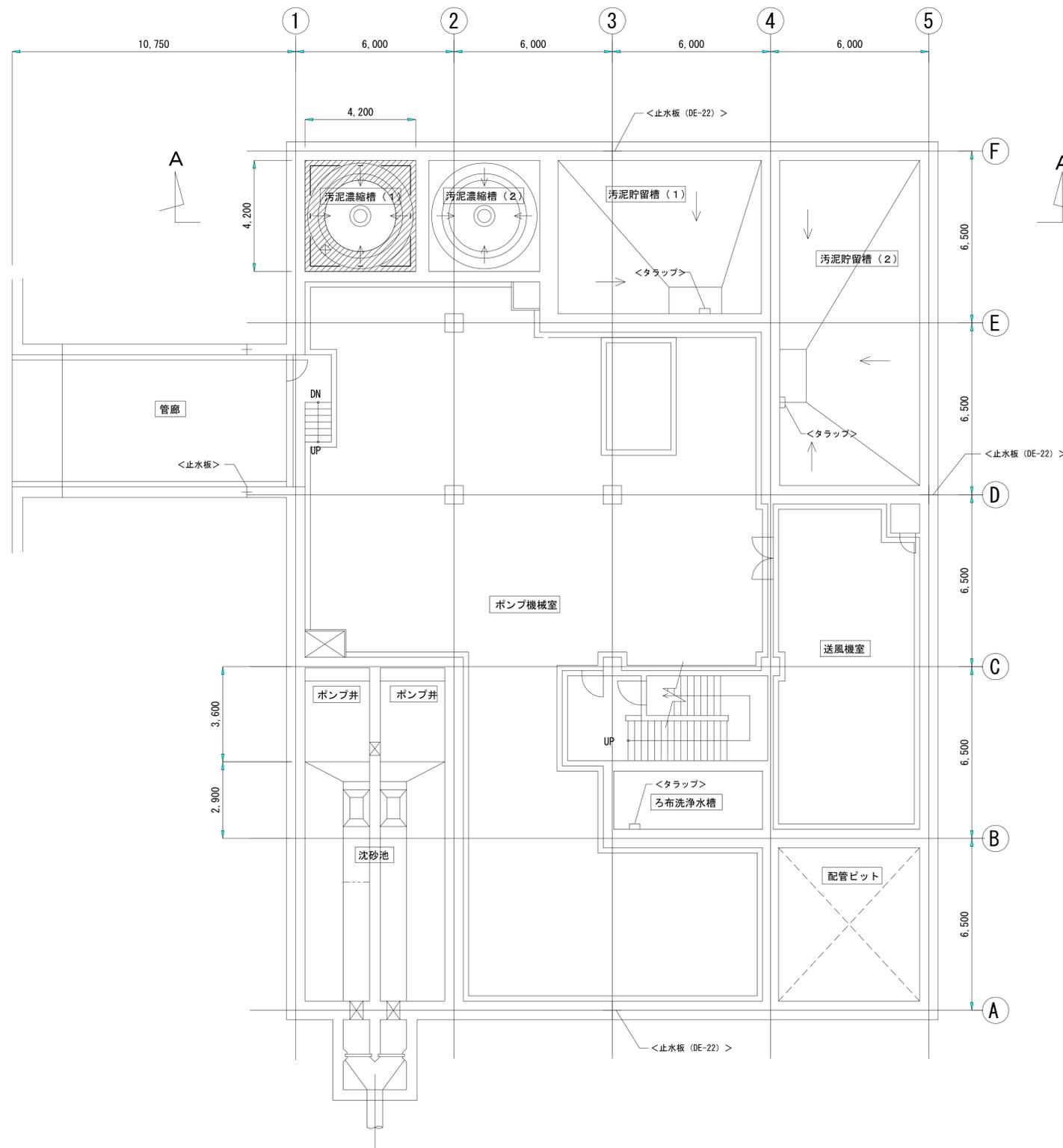
今回工事範囲 (管理・機械棟)

施設概要

施設名	上野新都市浄化センター	
処理方式	水処理	標準活性汚泥法+砂ろ過
	汚泥	濃縮→脱水→場外搬出
処理能力 (日最大)	全体	4900m ³ /日

工事名	社会資本整備総合交付金事業 (防災安全)		図面番号
	上野新都市浄化センター防食工事		1/7
施設名	上野新都市浄化センター		
図面名称	全体配置図		縮尺 1/250
検収年月		図面種別コード	
設計管理		業務委託番号	
受託業者		図面番号	C-1

管理・機械棟 防食塗装範囲図(1)



地下1階平面図 S=1:100

注) 特記なき限り
 1. 〰️ --- は、C種防食塗装範囲を示す。
 2. 蓋には施工しないこと。

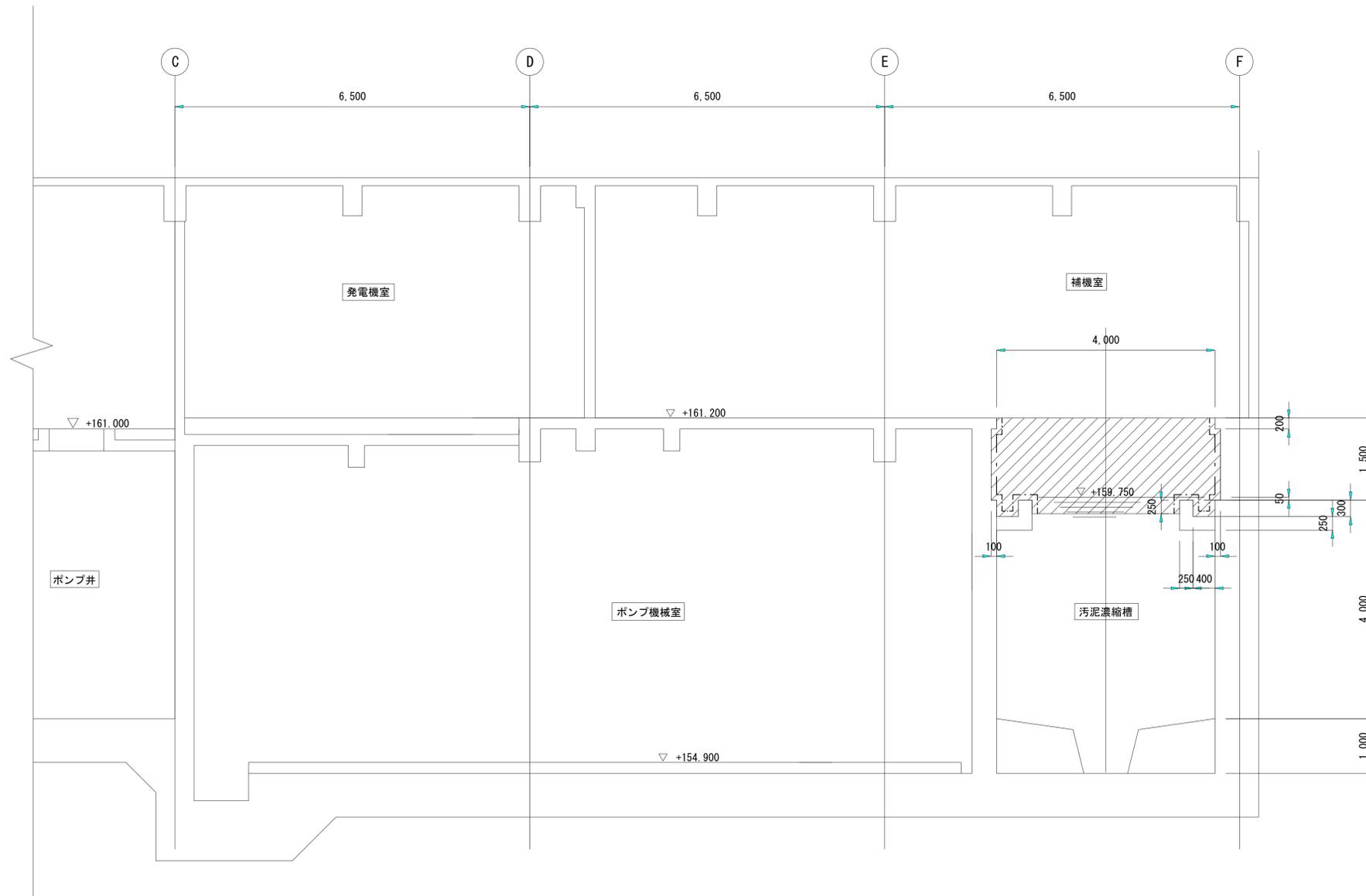
防食塗装

記号	名称	設計防食環境分類	点検・補修・改修の難易	防食塗装工法規格	塗装数量				
					底部 (m ²)	壁 (m ²)	天井 (m ²)	開口部 (m)	
					開口部 (m)		開口部 (m)		
					周長10m以上	周長10m未満	管径500mm以上	管径500mm未満	
〰️	汚泥濃縮槽	II	容易	C種 (塗布型ライニング工法)	-	46.32	-	1.20	-

注) 1. 蓋には施工しない。

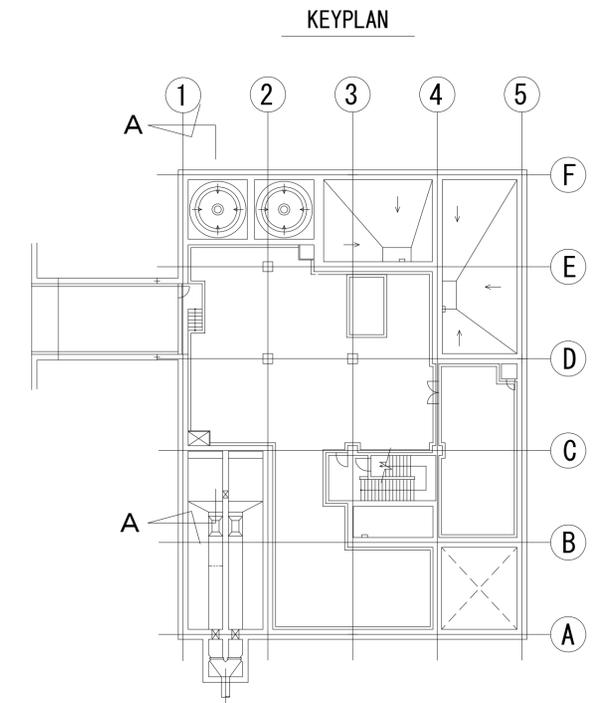
工事名	社会資本整備総合交付金事業 (防災安全) 上野新都市浄化センター防食工事		図面番号	2/7	
施設名	上野新都市浄化センター				
図面名称	管理・機械棟 防食塗装範囲図(1)			縮尺	1/100
検収年月		図面種別コード			
設計管理		業務委託番号			
受託業者		図面番号	C-2		

管理・機械棟 防食塗装範囲図(2)



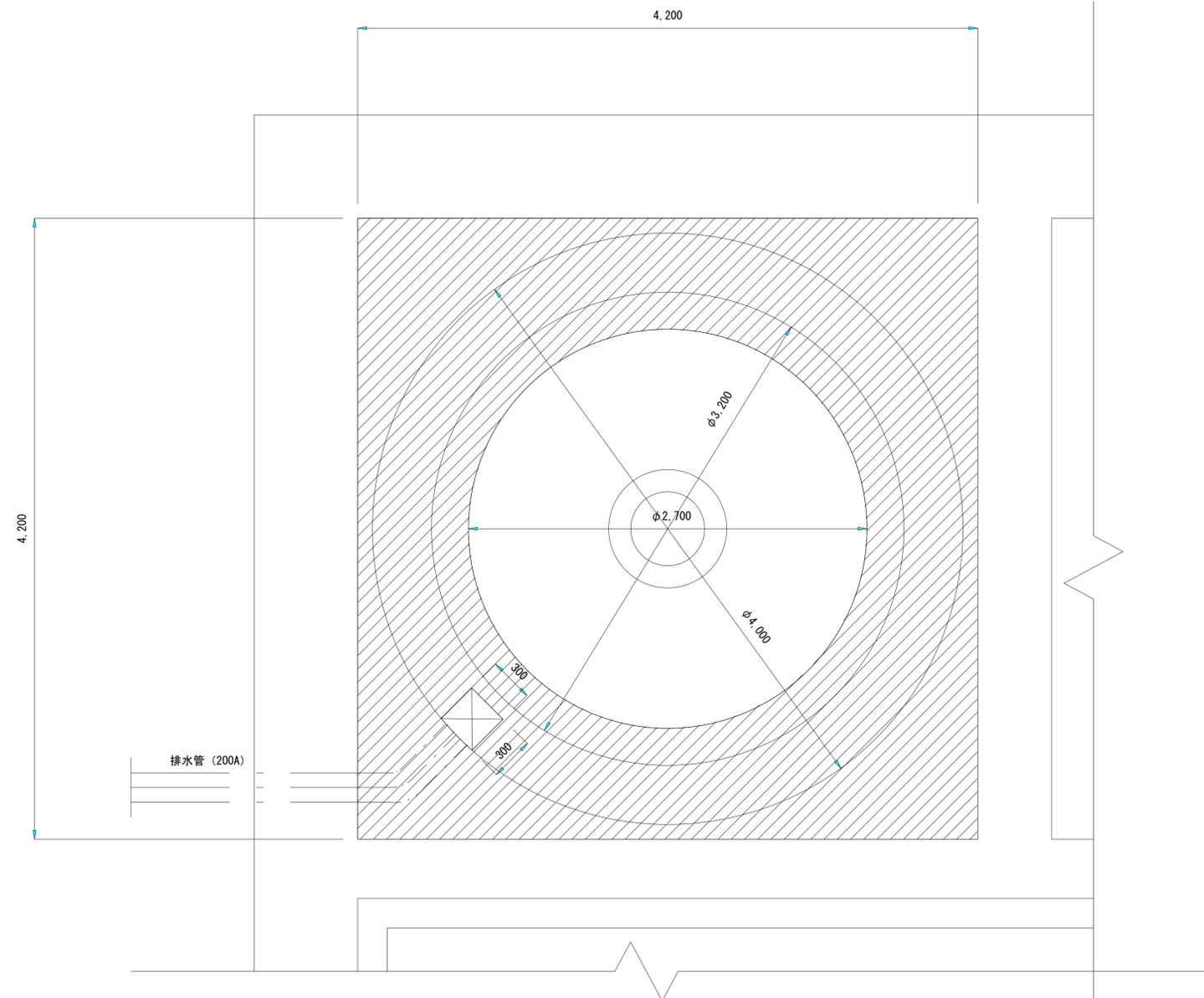
A-A断面図 S=1:50

- 注) 特記なき限り
 1. 斜線・--- は、C種防食塗装範囲を示す。
 2. 塞には施工しないこと。



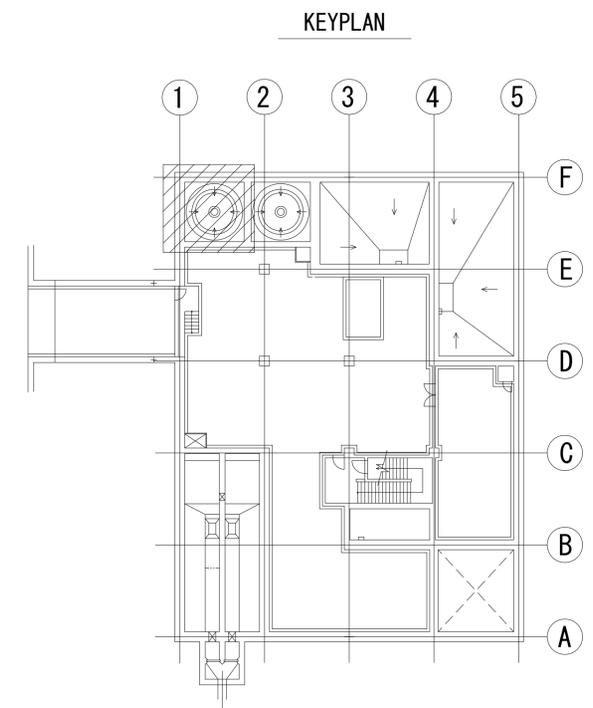
工事名	社会資本整備総合交付金事業（防災安全） 上野新都市浄化センター防食工事	図面番号 3/7
施設名	上野新都市浄化センター	
図面名称	管理・機械棟 防食塗装範囲図(2)	縮尺 1/50
検収年月		図面種別コード
設計管理		業務委託番号
受託業者		図面番号 C-3

管理・機械棟 防食塗装範囲図(3)



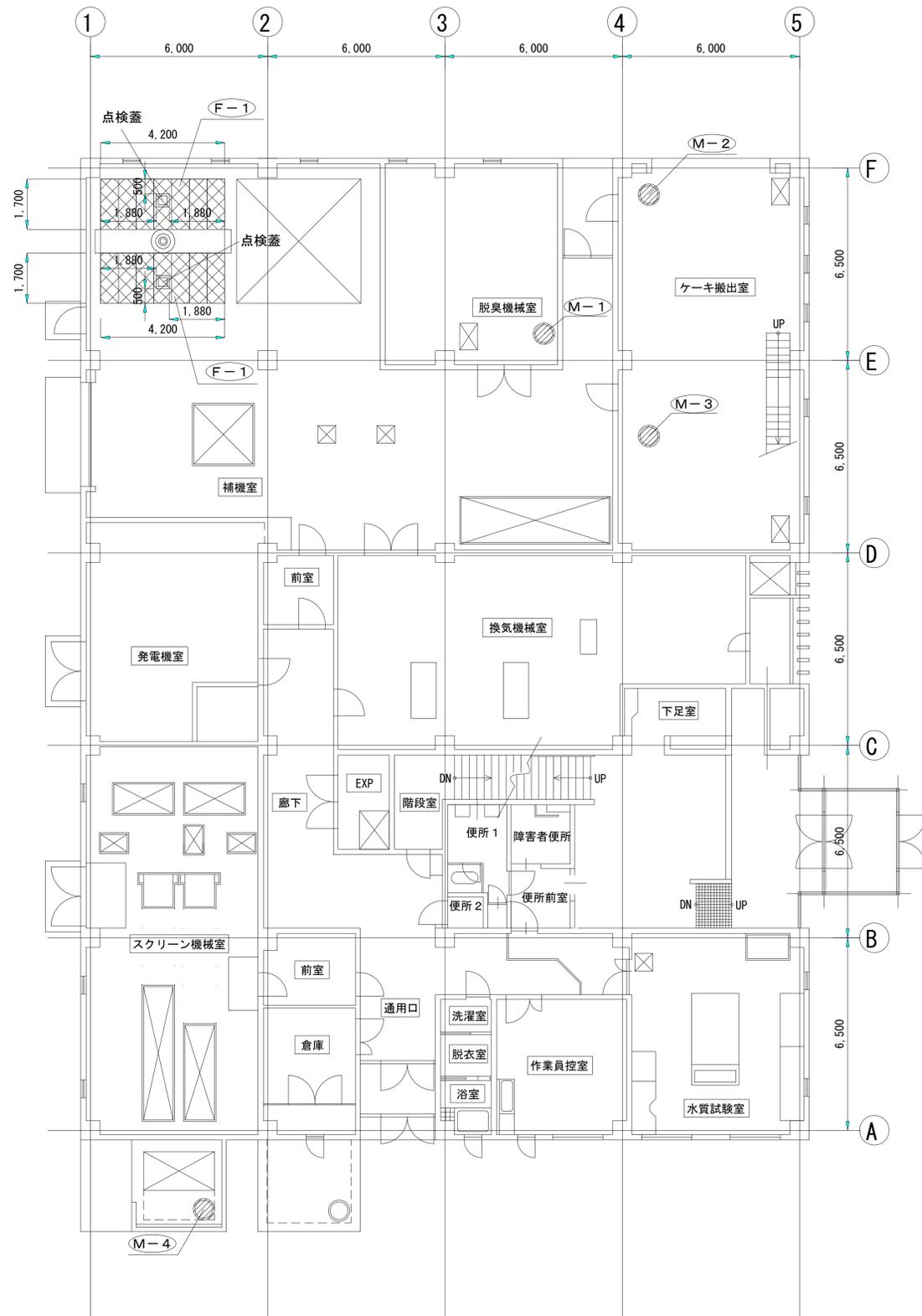
汚泥濃縮槽平面詳細図 S = 1 : 20

- 注) 特記なき限り
 1. は、C種防食塗装範囲を示す。
 2. 蓋には施工しないこと。



工事名	社会資本整備総合交付金事業（防災安全） 上野新都市浄化センター防食工事	図面番号	4/7
施設名	上野新都市浄化センター		
図面名称	管理・機械棟 防食塗装範囲図(3)	縮尺	1/20
検収年月		図面種別コード	
設計管理		業務委託番号	
受託業者		図面番号	C-4

管理・機械棟 覆蓋撤去・更新平面図



地下1階平面図 S=1:100

凡例	符号	開口寸法		蓋寸法			撤去	更新	今回工事			備考
		L'	W'	L	W	H			箇所数	割付枚数	飛散防止金具	
⊗	F-1	1700	4200	1766	4266	33.5	鋼製	合成木材製	2	7	-	タイプII ④
●	M-1	-	-	-	-	-	鑄鉄製	FRP製	1	1	-	φ600
	M-2	-	-	-	-	-	鑄鉄製	FRP製	1	1	-	φ600
	M-3	-	-	-	-	-	鑄鉄製	FRP製	1	1	-	φ600
	M-4	-	-	-	-	-	鑄鉄製	FRP製	1	1	4	φ600

※M-4については、屋外のため飛散防止対策として「押え金具タイプ」を採用すること。

工事名	社会資本整備総合交付金事業（防災安全） 上野新都市浄化センター防食工事		図面番号	5/7	
施設名	上野新都市浄化センター				
図面名称	管理・機械棟 覆盖撤去・更新平面図			縮尺	1/100
検収年月		図面種別コード			
設計管理		業務委託番号			
受託業者		図面番号		C-5	

合成木材蓋（単板蓋タイプ）標準図

仕様

- 1) 受枠は、アンカー筋（φ9mm）で躯体の鉄筋に溶接して固着する。
固着点は、隅角部については、角を構成する辺については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については500mm以内の等間隔とする。
- 2) 蓋は荷重表示を行う。
- 3) 蓋にはすべり止め加工を行う。

特記事項

- 1) 蓋の選定は、形式選定表による。
- 2) 合成木材は、ガラス繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂製の素材を示す。

設計注意事項

- 1) 設計荷重は、3.5kN/m²とし、または中央部集中荷重1.0kN/枚のいずれか大きい荷重とする。
- 2) 許容たわみ量は、L/200以下とする。
- 3) 板厚は、単板部分33.5mmを基本とする。
- 4) 可動式の場合は、中央線荷重1.0kN/mにおいて十分な破壊安全率を有し、脱輪を起こさないこと。
- 5) 屋外設置の場合、強風による蓋の飛散防止を行う。（押え金具参照）
- 6) 開閉時の作業の安全性を確認する。
- 7) 受枠下のコンクリートの厚み等安全性を確認する。

FRP製マンホール蓋 標準図

仕様

- 1) 受枠施工側としてボイド管を取付けたスラブ打設用枠より受枠サポート用調節ボルトで所定位置に保持した後、スラブを打設して固定する。
- 2) 本施工方式以外の方法による可とする。
- 3) FRP（強化プラスチック）又はFRTP（可塑性強化プラスチック）とする。
- 4) 簡易防水用、簡易防臭用の場合は、パッキンおよびロック機構を内蔵したものとす。
- 5) 荷重表示をする。

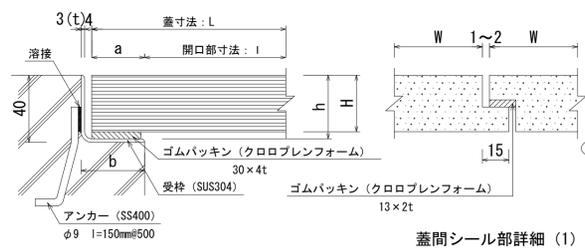
特記事項

- 1) 蓋の型式
- 2) 有効内径
- 3) 蓋のロック機能の有無

設計注意事項

- 1) 安全荷重は破壊荷重の4分の1以下とする。
- 2) 荷重除去後の残留たわみは、マンホール枠内径の0.2%以下とする。

蓋形式：タイプⅠ



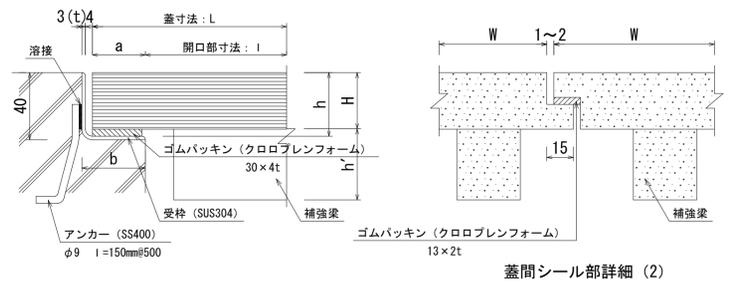
合成木材蓋（単板蓋）形式選定表（参考）

タイプ区分	蓋形成 (L×W×H)	開口部寸法 / (mm)	受枠寸法 (mm)					蓋重量 (kg/m ²)
			a	h	h'	b	t	
I 1	(~1066) × 600 × 33.5	~1000	33	37	-	40	3	20
I 2	(1067~1266) × 600 × 33.5	1001~1200	33	37	-	40	3	22
I 3	(1267~1666) × 600 × 33.5	1201~1600	33	37	40	40	3	23
II 4	(1667~2066) × 600 × 33.5	1601~2000	33	37	60	40	3	24

注 1) 受枠寸法のhにはパッキン厚を含む。
2) 蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300~600mmとする。
3) 受枠がL50×50×4tの場合（参考図-1参照）、蓋表面にスペーサー（w45×9t）を接着して対応できる。
4) タイプⅠ-2については、補強梁付き（タイプII参照）も可能とする。

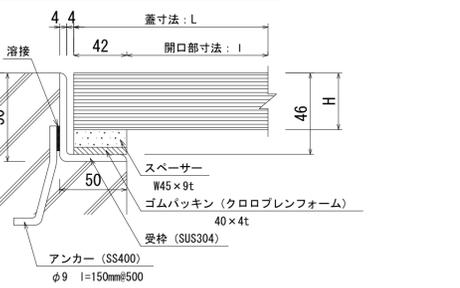
蓋間シール部詳細 (1)

蓋形式：タイプⅡ（補強梁付きの場合）

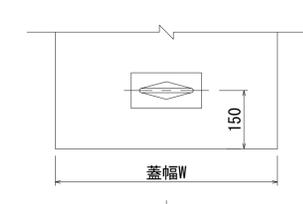


蓋間シール部詳細 (2)

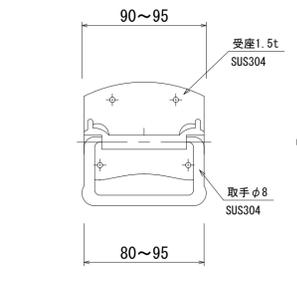
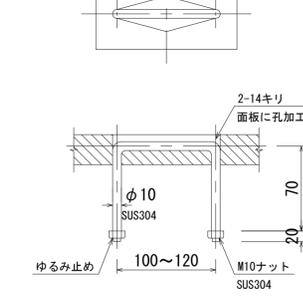
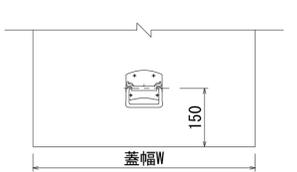
参考図-1 単板蓋（受枠が50mmの場合）



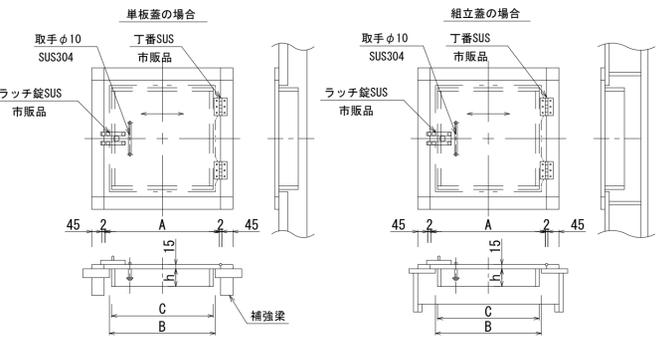
落とし込み取手詳細図



回転取手詳細図



合成木材製点検蓋

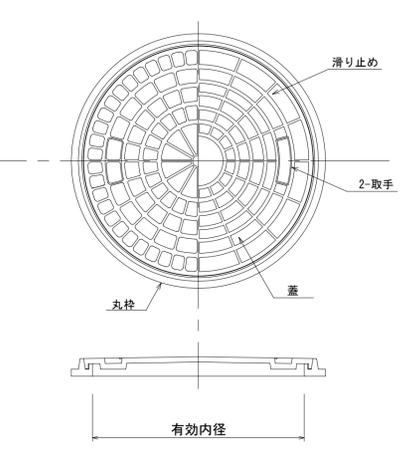


点検蓋形式選定表

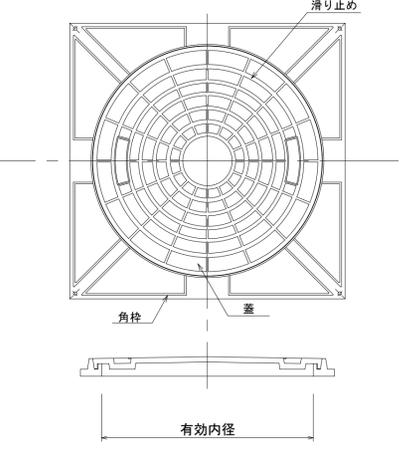
有効開口呼称	A	B	C	h
300×300	340	300	270	50
350×350	390	350	320	50
400×400	440	400	370	70
450×450	490	450	420	70
500×500	540	500	470	70

蓋型式

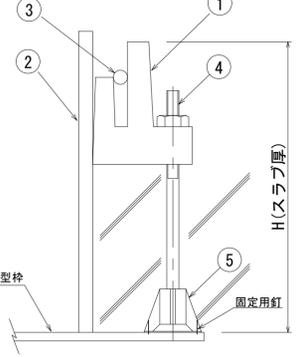
丸枠タイプ



角枠タイプ

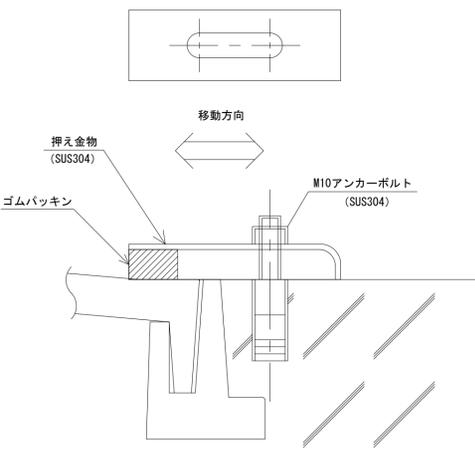


参考図-1 受枠施工断面図



- 1) FRPマンホール受枠
- 2) ボイド管
- 3) 養生材（ポリエチレン等）
- 4) 調整ボルト3/8インチ
- 5) サポート

参考図-2 押え金物断面図



※ 上記マンホール蓋のデザインは参考とする

FRP製マンホール蓋 型式選定表（参考）

寸法呼称	有効内径 (mm)	安全荷重種別呼称	安全荷重 (kN)
300型	300	500k	5.0
		1500k	15.0
600型	600	500k	5.0
		1500k	15.0
700型	700	1500k	15.0
900型	900	1500k	15.0

注) 寸法呼称及び安全荷重はSHASE-S209（空気調和・衛生工学会規格）に準拠する。

工事名	社会資本整備総合交付金事業（防災安全） 上野新都市浄化センター防食工事	図面番号	6/7
施設名	上野新都市浄化センター	図面名称	雑物詳細図 縮尺 -
図面名称	雑物詳細図	図面種別コード	
検収年月		業務委託番号	
設計管理		図面番号	C-6
受託業者			

